

奥村 信幸

東京のテレビ局でニュースのディレクターや記者をしてきました。今でもカメラを持って街に飛び出すビデオジャーナリストでもあります。現在は、政治とメディアの関係を中心に、ニュースが信頼され、世の中の役に立つためには、どんな条件が必要で、現在、何が問題なのかを考えています。ニュースの内容分析やメディアビジネスの環境、インターネットとサイバー社会の問題にも研究テーマを広げています。

1. 専門演習の目標

ビデオジャーナリズムの実践を通じてニュースのルールを現実的に理解することを目指します。基礎的なトレーニングを受けた後、街に出てニュースを探し、企画書を書き、ビデオカメラを持って取材に行き、映像を編集し、自分の声でナレーションを入れてニュースクリップを完成させ、ウェブサイトに掲載するという一連の作業を行います。先輩の作品は『ニュースの卵』www.newstamago.comで見ることができます。

2. 専門演習で扱う課題と内容

まずネタ探し、「ニュース性がある」のはどのような出来事なのでしょう。そして企画書、あなただけでなく、人にも「おもしろい」とはどういうことなのでしょう。そして取材とビデオ撮影、「客観的」とはどのように対象と接することなのでしょう。そして映像編集、「わかりやすく」伝えるとは何をすることでしょうか。映像とうまくコラボするナレーションとはどのような文章でしょうか、そして聞きやすい話し方とは？作りながら悩み、ディスカッションして進みましょう。時間も労力もかかりますが、その分達成した喜びも大きいはず。新聞やテレビの報道の見方も劇的に変わります。

3. 授業の進め方・内容

(以下学期ごとの課題ではありません)

- ① 最初はニュースを取材し発信するためのルール(ジャーナリズム)についての理論を勉強します。
- ② 短い記事を書いてみます。おもしろい出来事はどうやって発見し、どのようにすれば面白く伝わるのか、「基本」の勉強です。

- ③ ニュースクリップの制作(企画⇒取材・撮影⇒構成・演出⇒編集・ナレーション入れ)に挑戦します。きっとあなたの想像以上に長い長い時間がかかります。
- ④ ニュースクリップを題材に番組の制作にも取り組んでみましょう。

4. 必要とする知識

あらかじめビデオや編集ソフトなどを知らなくても大丈夫です。

新聞を読み、テレビも観てください。映画やネットの映像コンテンツもたくさん見て下さい

5. 関連する分野・科目・知識

歴史、文学、音楽、美術、スポーツ、マンガ、料理……何でも詳しい方があなたの作るニュースはおもしろくなります。

6. テキスト・参考書・機材(受講生が標準的に持つもの)
クラスが始まってから指示します。

7. 独自に付加する選考方法

1次選考レポート通過者に面接を行います。

8. 受講生に望むこと

映像、音声、文字などすべてのメッセージを思い通りに仕上げるには想像以上に時間がかかります。アイデアと根気、体力をもってエンジョイできる人を待っています。